

宮崎県に特徴的な再生可能資源を活用した資源循環型アグリシステムの構築

宮崎県

一次産業
農業
畜産業
林業
水産業

農業産出額: 3,200億円台を維持(全国第6位)
農業産出額: 畜産58%、野菜28%(H26年)
土地集約型の農業経営が特徴
品目別全国トップクラスの生産量:ピーマン、きゅうり、さといも、茶、ブロイラー、豚、肉用牛など

農業生産

農地・林地・草地

宮崎大学

農学工学総合研究科 資源循環研究ユニット

太陽光発電

農林水産業・地域の活力創造プラン

農林水産業・地域の活力創造本部

- ・ 地域の資源と資金を活用し、活性化につながるプロジェクト
- ・ 再生可能エネルギー発電のメリットを活用して地域の農林水産業の発展を図る取組
- ・ 2018年までに約100地区でバイオマス産業都市を構築(宮崎では小林市のみが選定)

テーマ3
土壌・水管理
機能評価

● 機能性や加工による付加価値
● 生産方法による付加価値

一次産業の環境保全技術

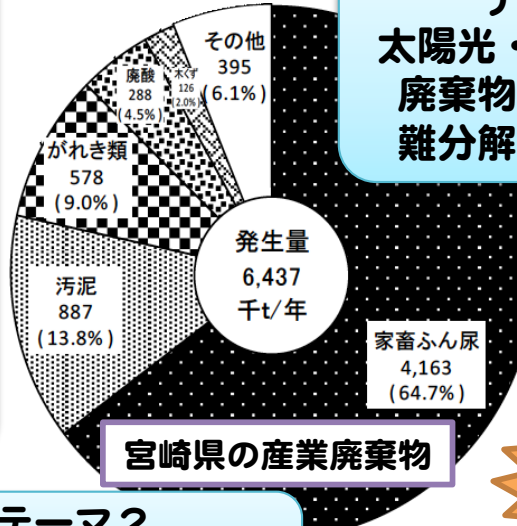
資源リサイクル
土壌処理・管理
水処理・管理

持続的産業創成

バイオマス産業都市との連携

有機質廃棄物
(糞尿・廃木材・汚泥・廃酸)

テーマ1
太陽光・微生物発電
廃棄物の高度利用
難分解性物質利用



水素燃料電池
微生物燃料電池

廃棄物加工

利用可能資源
リサイクル

テーマ2
物質・エネルギー循環
耕地のフル活用技術

堆肥・肥料・燃料

- ・ 農商工連携、医福食農連携等の6次産業化、地理的表示保護制度の導入、異分野融合研究の推進
- ・ 次世代施設園芸等の生産・流通システムの高度化の推進
- ・ 新品種・新技術の開発・普及及び知的財産の総合的な活用
- ・ 農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギーに係る取組の拡大・深化
- ・ 食品ロス削減の推進
- ・ 企業を含む地域の関係者と連携した畜産クラスターの構築支援

農家が発電し、資源リサイクルすることによる6次産業化を推進し、「需要と供給をつなぐ**バリューチェーン**の構築」に繋げる

キーワード：太陽光発電、微生物燃料電池、廃棄物高度利用、難分解性物質利用、物質・エネルギー循環、耕地フル活用、高付加価値農業生産、水資源・土壌基盤の維持・管理・処理